

## 環境行動計画(エンドレス グリーン プログラム 2026)

「エンドレス グリーン プログラム 2026」(2022～2026年度)は、7つの「チャレンジ・ゼロ」をふまえ、2030年のマイルストーンからのバックカスティング思考に基づき策定しました。

7つの「チャレンジ・ゼロ」		主な指標	2021年度実績	2026年度目標	2030年マイルストーン (環境長期ビジョン)	詳細ページ
気候変動の緩和と適応	1 まちづくりにおけるCO <sub>2</sub> の “チャレンジ・ゼロ”	商品の使用によるGHG排出量削減率(2015年度比)	▲29.4%	▲58% <sup>※1</sup>	▲63%	P022・023
		ZEH率	53%	90%	原則100%	
		ZEH-M率 賃貸住宅   分譲マンション	3%   35%	50%   100%	原則100%   原則100%	
2 事業活動におけるCO <sub>2</sub> の “チャレンジ・ゼロ”	2 事業活動におけるCO <sub>2</sub> の “チャレンジ・ゼロ”	事業活動によるGHG排出量削減率(2015年度比)	▲20.8%	▲55%	▲70%	P024・025・026
		エネルギー効率(2015年度比)	1.47倍	1.9倍	2.0倍	
		再エネ利用率	18.2%	100%	100%	
		クリーンエネルギー自動車導入率 社用車   マイカー	0.3%	30%   10%	100%   30%	
3 サプライチェーンにおけるCO <sub>2</sub> の “チャレンジ・ゼロ”	3 サプライチェーンにおけるCO <sub>2</sub> の “チャレンジ・ゼロ”	新築自社施設のZEH率   太陽光発電設備搭載率 <sup>※2</sup>	—   —	100%   100%	100%   100%	P027
		主要サプライヤーによるSBT水準のGHG削減目標設定率	34%	90%	主要サプライヤーによるGHG削減目標達成	
自然環境との調和	4 森林破壊の “チャレンジ・ゼロ”	再エネ・省エネソリューションの契約件数(支援件数)	—	50件(5か年累計)		P035・036
		調達木材におけるCランク木材比率	2.7%	0%	0%	
		森林破壊ゼロ方針設定率 1次サプライヤー   2次サプライヤー以降	—   —	90%   50%	100%   100%	
5 生物多様性損失の “チャレンジ・ゼロ”	5 生物多様性損失の “チャレンジ・ゼロ”	持続可能なコンクリート型枠採用比率 <sup>※2</sup>	—	70%	100%	P037・038・039
		生態系に配慮した緑被面積(累積)	—	100万㎡	200万㎡	
		自社施設の重要サイトにおける管理保全計画の策定・実施率	—	100%	100%	
6 資源利用・廃棄物の “チャレンジ・ゼロ”	6 資源利用・廃棄物の “チャレンジ・ゼロ”	プラ素材配布物品代替率【オフィス等】	当社：81% グループ：92%	100%	100%	P048・049
		資産有効活用促進件数   建物長寿命化促進件数	3,989件   3,246件	3,100件 <sup>※1</sup>   7,150件 <sup>※1</sup>	— <sup>※3</sup>   — <sup>※3</sup>	
		廃プラのマテリアルリサイクル率【生産】	10.9%	30%	— <sup>※3</sup>	
7 水リスクの “チャレンジ・ゼロ”	7 水リスクの “チャレンジ・ゼロ”	特定アメニティプラ製品削減率(2021年度比)   リサイクル率【ホテル】	—   —	▲50%   50%	— <sup>※3</sup>   100%	P051・052
		主要サプライヤーによる廃棄物ゼロエミ目標設定率	34.5%	90%	主要サプライヤーによる廃棄物ゼロエミ目標達成	
		居住用途およびホテルにおける節水機器採用率	89.8%	99% <sup>※1</sup>	100%	
環境マネジメント	環境マネジメント	売上高あたりの水使用量削減率(2012年度比)	▲46.8%	▲45% <sup>※1</sup>	▲45%	P009・014・028
		主要サプライヤーにおける水リスク調査実施率	—	100%	水リスク対応完了	
		環境貢献型事業売上高	—	16,000億円	30,000億円	
		eco検定取得者数	19,033名	38,000名		
		気候変動の適応策実施状況	—	実施完了		

化学物質による汚染の防止は、既に維持管理レベルのため、「チャレンジ・ゼロ」の設定はしていません。

※1 2023年度の実績をふまえて、2026年度目標を修正。

※2 2024年度から新規追加。

※3 2026年度に策定。

 P053 化学物質による汚染の防止

P119 環境行動計画(エンドレス グリーン プログラム 2026)の実績と自己評価